

令和4年度の決算を認定しました

普通会計歳入決算額は、1,694億円(前年度比5.4%増)歳出決算額は、1,623億円(前年度比5.1%増)となりました。健全化判断比率の指標からも、健全な財政状況であるといえます。

歳出

新型コロナ影響や物価高騰対策としての臨時給付や活動再開支援ほか、区民を守る様々な施策に取り組んだことは評価されます。

歳入

行政が用途を特定されずに使える歳入である一般財源は932億円(前年度比6.9%増)であり、経常収支比率は70.4%(前年度より2.3%減)でした。
経常収支比率は財政の弾力性を示すものであり、だいぶ余力がある状態といえます。
決算内容を分析し、次年度以降の予算編成に活かしていくことが望まれます。

※経常収支比率とは？

経常経費充当一般財源 / 経常一般財源

一般財源のうち人件費など経常的に支出する金額が経常的な収入に占める割合で、100%に近いと余裕がない財政状況であることを示す

決算の概要はこちら (PDFファイル) →



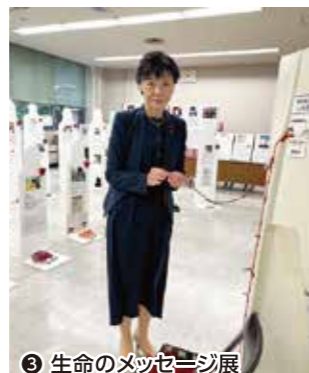
活動から一部をご紹介します (その他の活動はSNSをご覧ください)



① 展望施設等視察



② 武雄市ICT教育視察



③ 生命のメッセージ展



④ 東中野4丁目(鉄道・道路横断施設)



④ 上高田4丁目(鉄道・道路横断施設)

- 10/16 展望施設等視察(中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会) ①
- 11/1-2 武雄市ICT教育、福岡市子ども未来基金視察(子ども文教委員会) ②
- 11/15 犯罪被害者週間 生命のメッセージ展参加 ③
- 12~1月 鉄道・道路横断施設調査 ④

教育委員会傍聴、財政自主ゼミ参加
その他随時区民団体との懇談・意見交換
区民相談・街頭活動など



活動報告はこちら

Facebook @saitoyuri.jp

Instagram yuri.lis62

X @saitoyurilis

斉藤ゆり 区議会レポート 第11号 (2023 FALL-WINTER)

[編集・連絡先]

斉藤ゆり事務所



(鷺ノ宮駅街頭活動)

2019年4月 中野区議会議員初当選
前期 子ども文教委員会副委員長
後期 建設委員会副委員長

2023年4月 2期目当選
子ども文教委員会委員長

- ・鷺宮四丁目町会会計監事
- ・青少年育成鷺宮地区委員会副委員長
- ・野方消防団第八分団員
- ・地域ポータルサイト「さぎのみや.net」会長

中野区鷺宮4-21-13 / 電話 090-1693-5972

(斉藤ゆりHP)



[発行] 立憲・国民・ネット・無所属議員団 <https://rikken-nakano.net> (中野区議会 立憲・国民・ネット・無所属議員団)

中野区中野4-8-1 / 電話 03-3228-8876 / メール rikkenakano@gmail.com

斉藤ゆり 中野区 <https://saitoyuri.jp> メールアドレス → lis@saitoyuri.jp



プロフィール & 活動略歴

ご意見・ご要望など
どうぞお気軽に
ご連絡ください



中野区鷺宮出身/1962年生まれ
夫・娘3人・孫2人 保護司

鷺宮学園幼稚園 / 中野区立西中野小学校 / 第八中学校
都立富士高等学校校 / 東京女子大文理学部卒
大和証券株式会社事業法人部 / イノテック株式会社
出産を機に退職 / 児童英語&学習支援塾主宰
小学校外国語活動指導助手(武蔵台小学校)
鷺宮小学校 / 北中野中学校にてPTA活動
中野区次世代育成委員 / 学校評議員(かみさぎ幼・西中野小)
冊子「鷺宮の歴史をたどる」「さぎのこmap」編集

みんなで作るみんなのまち

中野区議会議員

子ども文教委員会委員長
中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会所属

斉藤ゆり

2023
FALL
WINTER

区議会レポート 第11号

[発行] 立憲・国民・ネット・無所属議員団
[編集] 斉藤ゆり事務所

暮らしに
寄り添う
政治を

年明けに発生した能登半島地震ならびに羽田空港事故におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々にお見舞いを申し上げます。

こんにちは。斉藤ゆりです。2023年秋冬の活動報告をお届けします。

今なお感染症蔓延や物価高騰など、タイムリーな公的支援が必要な状況が続いています。また、新型コロナにより滞っていた様々な活動に対しての更なる再開支援も望まれます。こうした区の施策が皆様の暮らしに寄り添ったものであることが大切です。区政へのご意見やご要望、また日々の暮らしでのご相談などございましたらいつでもお声がけください。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年 区議会日程 2023 FALL-WINTER

第3回定例会 9/14-10/20

・令和4年度の決算を認定

←裏面へ

- ・補正予算第4次(価格高騰支援給付金拡大に係る経費物価高騰支援：学齢児童・生徒世帯に学校給食費相当額を給付金として支給、認可保育園等子ども施設・民間学童クラブ・助産所・介護サービス事業所等への補助他)
- ・補正予算第5次(旧中野刑務所正門の移築修復に関する経費増)

一般質問を行いました。詳細は斉藤ゆりHPまたは区議会レポート10号をご覧ください。

第4回定例会 11/27-12/12

一般質問を行いました。

中面へ→

- ・補正予算6次(子ども医療費助成増額他)
- ・補正予算7次(価格高騰支援給付金追加支給に係る経費)
- ・中野区実施計画



(新庁舎建設現場)

NEWS 令和6年度予算要望を行いました

立憲・国民・ネット・無所属議員団として、重点項目12を含む208項目の予算要望書を区長並びに教育長に渡しました。



中野区の令和6年度予算で検討中の主な取り組みを一部紹介します (新規)

- ・おくやみ窓口の開設・運営
- ・AIチャットボットの導入
- ・新庁舎における窓口サービスの向上
- ・デジタル地域通貨事業
- ・ひとり親家庭住宅支援
- ・子どもの意見を反映させた教育活動の推進
- ・鷺の杜小学校、中野本郷小学校における通学路の安全対策
- ・防犯カメラ設置工事(公園)
- ・常設プレーパーク設置に向けた試行実施
- ・社会的養護自立支援拠点事業
- ・がん患者へのアピランスケア支援事業
- ・高齢者補聴器購入費用助成

斉藤ゆりの

一般質問とは？

本会議において、議員が課題と考える行財政全般にわたることについて持ち時間内で質問するもの。回答は執行機関の公式な見解となります。

一般質問 ダイジェスト

質問した主な項目と紹介したい疑問をピックアップしました

第4回定例会 (2023.11.29)



斉藤ゆりの政策の柱

教育は力

- 生きる力を育む、地域とともにある学校づくり
- 生涯にわたる学びのための社会教育体制の整備

すべての人が共にいきいき暮らせるまち

- みんなに仕事、安心な住まい・活躍できる場があるまち
- 地域コミュニティを支える仕組みをつくる

あなたの声で区政は変わります

子育て子育て環境の充実したまち

- 児童館や子育て広場の機能拡充
- 配慮が必要な子ども・子育て家庭への支援

みんなで作る中野のまち

- 西武新宿線沿線まちづくりの推進
- 景観を大事にしたまちづくり

1. 孤独・孤立のない地域共生社会の実現に向けた取り組みについて

生きづらさを抱えた人の背景には、望まない孤独や社会的孤立があるとされています。もっと早くにどこかに相談ができていれば、あるいは誰かがそれに気づいて支援につなげていれば、解決が困難な状況にまで陥らなかったり、起きなかった事故や犯罪もあったと考えられます。困った時は誰かの支援を求めて良いのだということが社会の中で共有され、相談に向いたり、声をかけたり通報したりということに、敷居が低くなるのが望まれます。

① 包括的な相談支援体制について

こんな質問をしました

- すこやか福祉センターが包括的な相談支援の窓口であることの一層の周知の工夫
- アウトリーチチーム体制の検証と社会福祉協議会の地区担当との連携強化

② 子ども分野の相談・支援について

問 次世代育成委員は、区から委嘱され学校や児童館等と連携して、地域の子育て・子育てネットワークづくりを進めてきた。今後児童館運営体制が変更され、さらにコミュニティスクールが導入されていく中で、次世代委のあり方は検討が必要である。

答 新たな体制に沿った次世代育成委員のあり方を検討していく。

こんな質問をしました

- 子ども若者支援センターや児童相談所が設置され、来年度は子ども支援センターの開設がある。子ども分野の相談・支援体制の整理が必要。
- 今後子どもと子育て家庭の福祉的課題に対応する、公設公営の基幹型児童館の役割の地域共有。

※児童館運営・整備については現在検討が進められています

ページ右参照→

③ 地域づくりについて

こんな質問をしました

- 町会ハンドブックの作成
- 区民活動センター運営委員会の「運営指針」の見直し
- 区民活動センターロビーの中高生の学習スペースとしての活用

2. 高齢者活動支援について

問 なかの生涯学習大学の在校生や卒業生の様々な見識を今後コミュニティ・スクールが本格化していく中で、学校で活かしていただく体制づくりはできないか？

答 受講生や卒業生を学校に繋ぐことは有効である。学校のニーズや受講生の意向も踏まえ、カリキュラムに組み込めるか研究していきたい。

こんな質問をしました

- 中野区シルバー人材センターの広報活動支援の継続

3. 更生保護活動について

問 中野区の再犯防止推進計画は、地域包括ケアの考え方が取り入れられており、保護司が地域ケア会議のメンバーになるなど他にない特徴となっている。来年度の改訂にあたっては、更生保護法等の改正を反映させ、犯罪をした人も社会の中で困り事を抱えたひとりとして息の長い支援が実現するよう望むがいかがか。

答 区の関係部署、地域の関係機関や支援者間の連携を強化し、犯罪をした人も生きづらさを抱えるひとりとして社会的孤立や孤独を作らない地域の体制づくりを目指した計画として改定を進める。

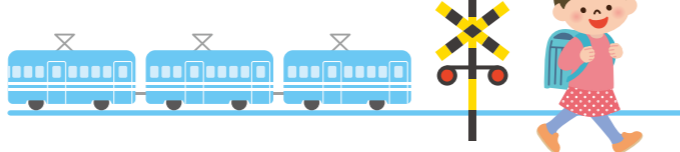
こんな質問をしました

- 犯罪被害者支援と更生保護の活動連携の検討
- 法務省保護観察所との定期的な意見交換の場の設定
- 更生保護施設「敬和園」との一層の連携体制構築

..... YURI・MEMO

中野区では犯罪被害者支援と再犯防止推進の取り組みがともに23区の中でも早い時期から進められています。

4. 保護者や地域と連携した鷲の杜小学校と本郷小学校の児童の通学安全対策



区は児童館運営・整備推進計画策定に向けて取り組んでいます

前区政では児童館を全館廃止としていましたが、その方針をあらため現在ある18の児童館を条例上の児童館として存続させることとしました。また、開館時間・開館日の拡充や計画的施設改修についても検討します。



現在
検
討
中
です！

〈 運営の方針 〉

区が直営で運営

中学校区に1館設置
ソーシャルワーク
機能を強化

民間委託

基幹型児童館 9館

- 福祉的課題への対応
- 子育てに関する地域連携の促進

乳幼児機能強化型児童館 8館

- 乳幼児親子むけ事業の充実
- 子どもの預かりニーズへの対応

中高生機能強化型児童館 1館

- 中高生世代のニーズを踏まえた居場所・遊び場機能の拡充
- 中高生世代の交流と社会参加の促進

〈 今後の予定 〉

区民意見をお聞きする

2024年3月
計画策定

R6年度
2館でモデル事業を
実施

検証を
踏まえて

R7年度から
委託開始

条例上の「児童館」とは？

0～18歳までの子どもと保護者全てを対象とした施設を指します。全ての児童館でどの年齢の子ども利用が可能です。運用はタイムシェアやゾーニングにて工夫していきます。

..... YURI・MEMO

児童館廃止方針だったため児童館職員の採用がない時期が続き人材が不足しています。子どもたちの遊びや状況をしっかりサポートしていく職員配置を望みます

